

2017年度通期 決算説明会資料

2018年5月29日

- I 2017年度の連結業績概要
- II 中期経営計画の振り返り
- III 2018年度の連結業績見通し

(1) 2017年度 連結業績概況



(億円)	FY2016 (実績)	FY2017 (実績)	増減 (率)
売上高	434	447	<+2.9%>
営業利益 (率)	18.4 (4.2%)	17.2 (3.8%)	▲1.2
経常利益	16.7	17.6	+0.9
税前利益	17.1	15.1	▲2.0
当期利益	13.6	11.1	▲2.5

- 為替影響を除くと売上▲1%、営利▲1.7億円の減収減益

- ディーゼルゲートによるドイツエンジニアリング市場の一時的な冷え込み
- 国内3DAuto事業の減収等

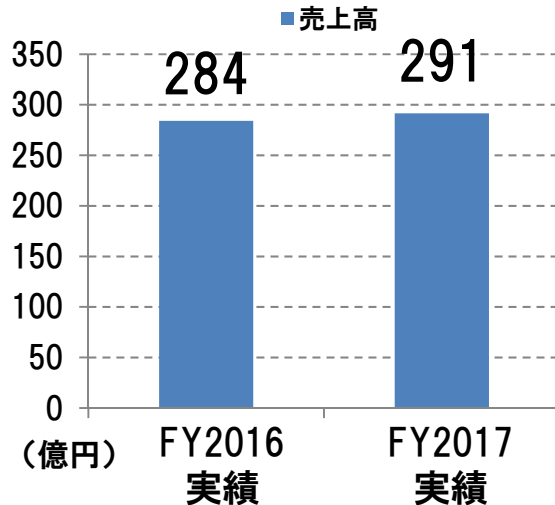
- 北米オートモーティブ事業において3.4億円の減損

EUR	120.3	126.7
GBP	147.6	144.5
USD	108.8	112.2

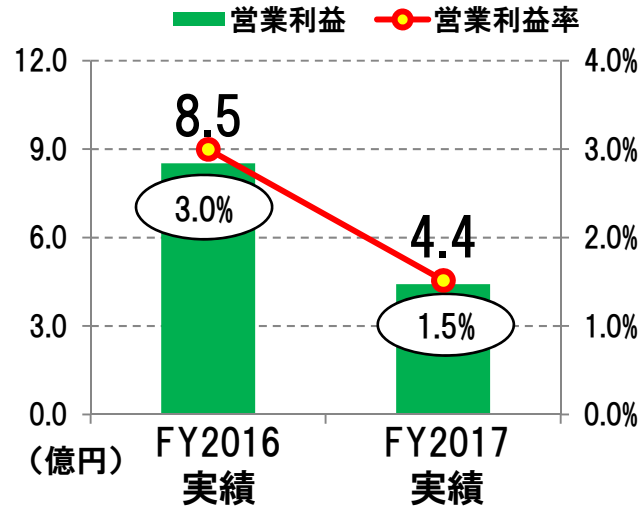
(2) 2017年度 セグメント別業績概要

欧米地域

売上高



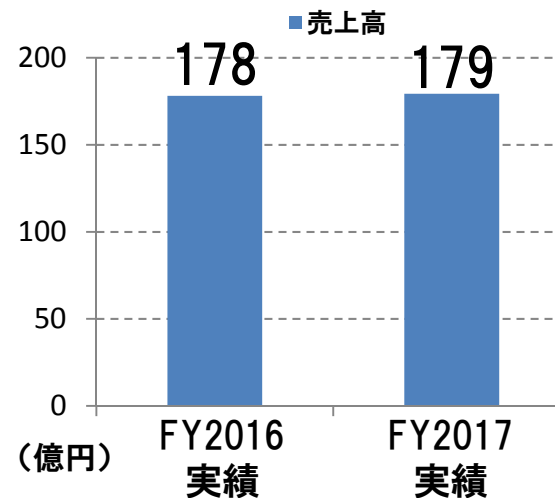
営業利益



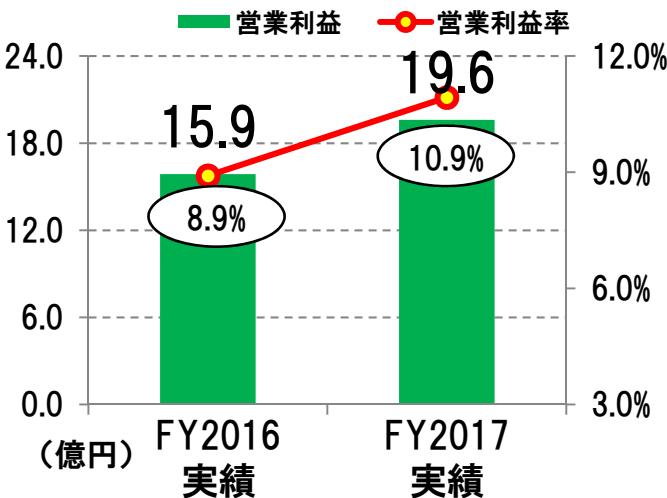
- ・売上は為替影響を除くと減収
- ・ドイツエンジニアリング事業の収益性悪化
- ・欧州SPG・金型の受注減を欧州試作事業が相殺

国内アジア地域

売上高



営業利益



- ・アジア プロトタイプ事業
現地自動車メーカーのモーターショー案件や日系自動車メーカーの開発案件で、タイと上海が好調
- ・国内
デザイン開発事業が復調
3DA事業で主要顧客の開発案件の延期・中止により減収減益

- I 2017年度の連結業績概要
- II 中期経営計画の振り返り**
- III 2018年度の連結業績見通し

(1) 中期経営計画の振り返り



- ・事業基盤の強化と生産能力増強の戦略投資は計画通り実行
- ・成長戦略の成果は不十分。経営環境も大きく変化し、実績は大幅未達。

基本戦略とその主要施策

I 事業基盤の強化

- 欧州子会社の収益改善
- オートモーティブ事業の顧客層拡大
- 試作ボディの生産能力増強

II 強みを活かした成長戦略

- 新技術開発(複合素材)
- 販売チャネルの拡大(RP事業)
- エンジニアリング事業を活かした事業連携強化
- 成長領域(灯体・車載)での事業拡大
- 現地開発シフト(AM試作)への対応強化

売上・営業利益計画／実績

(億円)	FY2014 (実績)	FY2017 (計画)	FY2017 (実績)
売上高	471	550	447
営業利益	27	50	17
営業利益率	5.6%	9.1%	3.8%
戦略投資額※	—	62	60

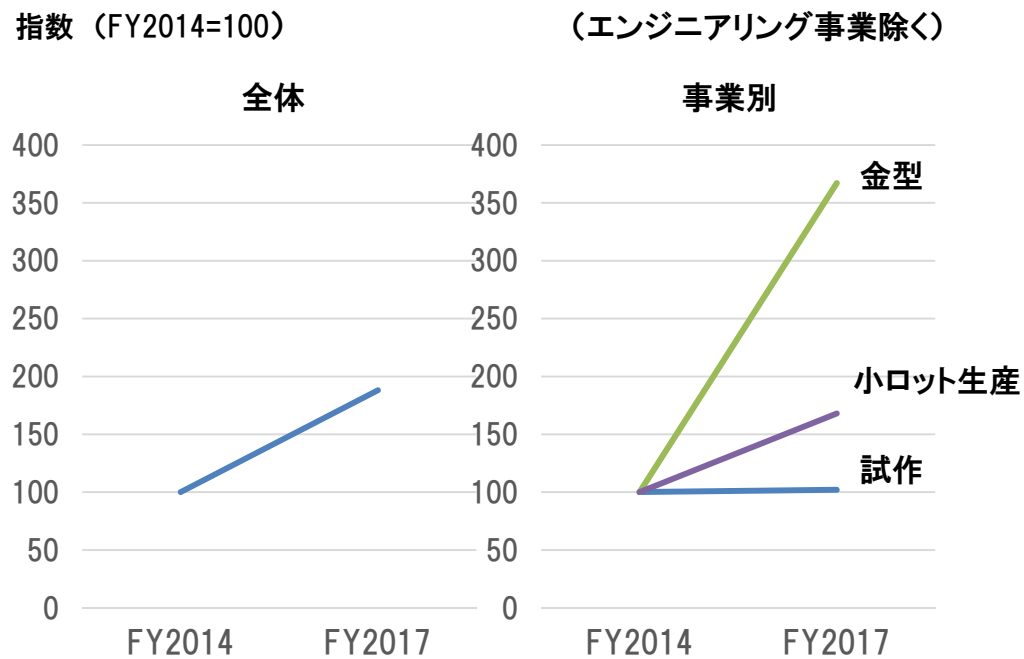
※ FY2015—FY2017の累計額

EUR	140.4	130.0	126.7
GBP	174.2	175.0	144.5
USD	105.8	115.0	112.2

(2) 事業基盤強化

- ・欧州金型事業の構造を転換し、高収益体質へ
- ・欧州Tier1及び国内自動車メーカーのシェア拡大

欧州グループ会社
営業利益推移



対国内自動車メーカー2社
売上推移

指数 (FY2014=100)	FY2014 (実績)	FY2017 (実績)
A社	100	164
B社	100	204

(2) 事業基盤強化

生産能力増強（名古屋・埼玉支社、欧州Shaper's、英国 Kings Norton、オランダSPG）

名古屋支社 新工場



AEL(英国)Kings Norton 新工場

埼玉支社 工場拡張



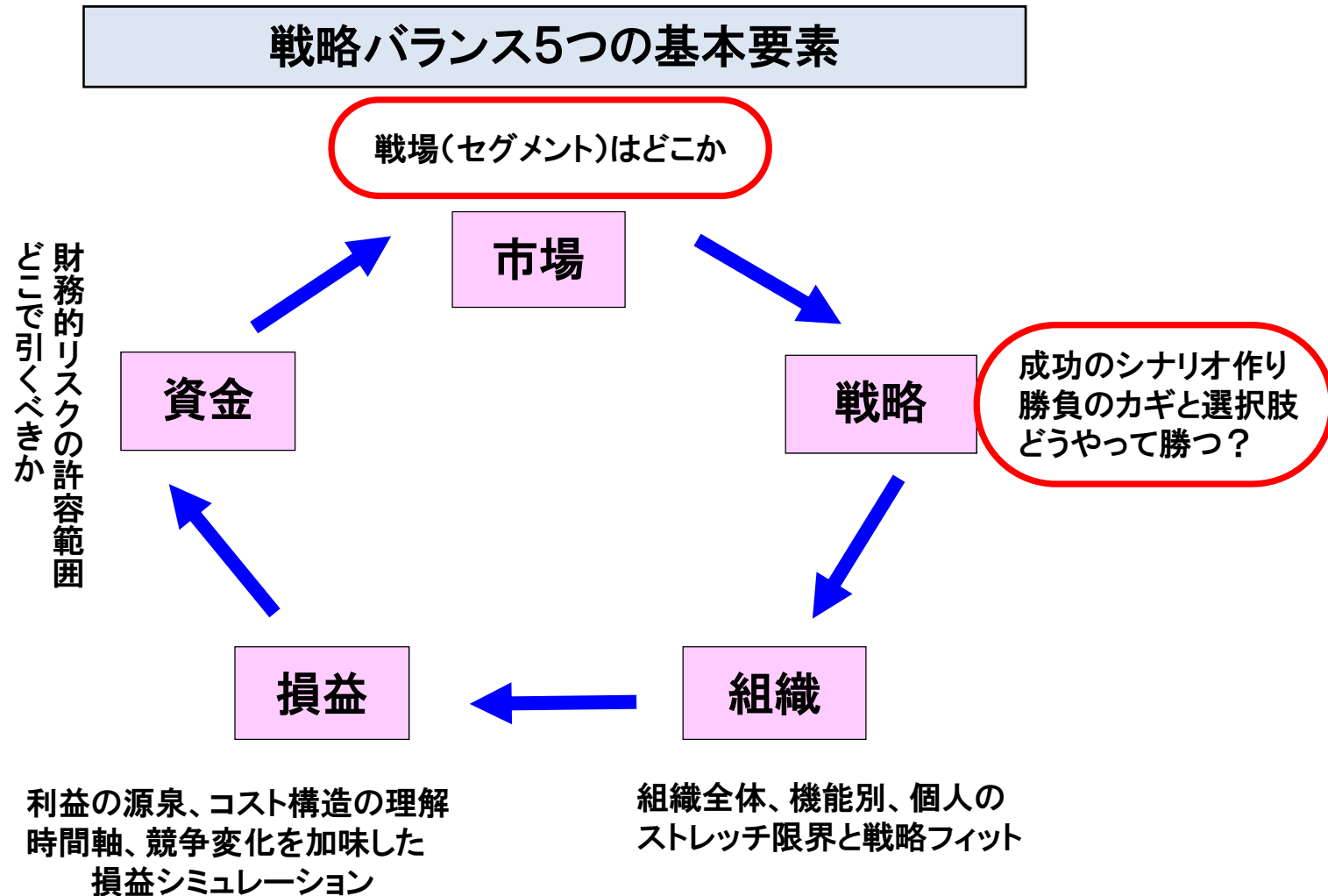
Shaper's Poland工場拡張



(3) 強みを活かした成長戦略

事業戦略の策定甘い

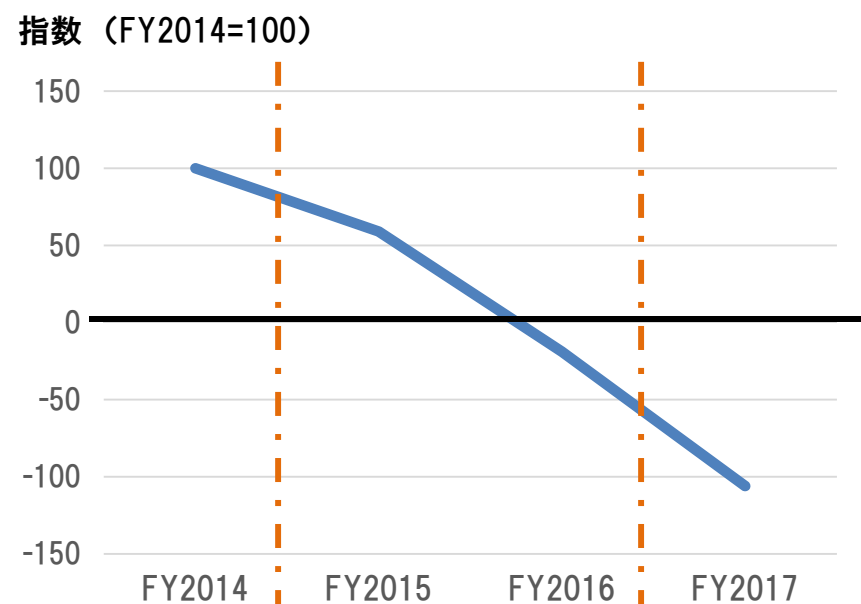
まずは主要事業におけるセグメントの明確化と勝ち戦のシナリオを策定



(4) 環境変化

エンジニアリング事業は、派遣法の運用変更とディーゼルゲート問題により収益性低下

エンジニアリング事業 営業利益推移



ドイツ派遣法運用変更

ディーゼルゲート問題

- I 2017年度の連結業績概要
- II 中期経営計画の振り返り
- III 2018年度の連結業績見通し**

(1) 2018年度 連結業績見通し



- ・増強された生産能力を活用し拡販
- ・増収とエンジニアリング事業の収益改善による増益を、着手済み投資案件に再投資
結果、売上高は7.4%増の480億円、営業利益は維持

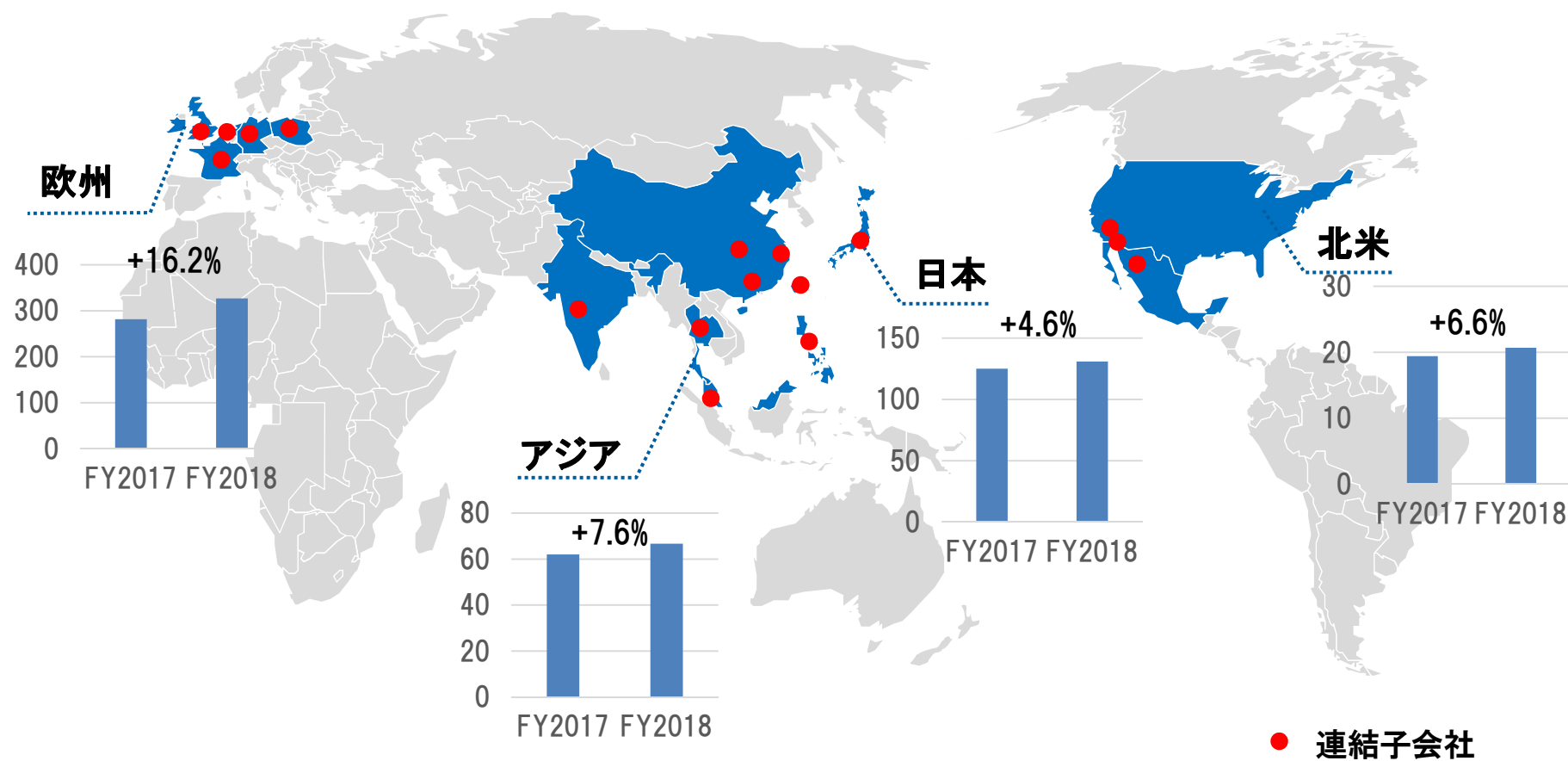
(億円)	FY2017 (実績)	FY2018 (見通し)	増減 (率)
売上高	447	480	<+7.4%>
営業利益 (率)	17.2 (3.8%)	17.5 (3.6%)	+0.3
経常利益	17.6	15.0	▲2.6
当期利益	11.1	9.0	▲2.1

EUR	126.7	130.0
GBP	144.5	147.0
USD	112.2	110.0

(2) 地域別売上

生産能力を増強している地域で需要の取り込みを進める

(億円)



(3) エンジニアリング事業

エレクトロニクスや複合材部品などの成長領域を強化、増収増益を狙う

エンジニアリング主領域

現在	車両安全	外装	内装	アコースティック
今後	ホワイトボディ	エレクトロニクス	複合材部品	温度管理

ARRK